

安全データシート

1. 製品及び会社情報

Cat.No. : _____
 製品名 : 土壌中有害物質測定用試薬 No.2
 会社名 : セントラル科学株式会社
 住所 : 〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル
 担当部門 : 品質保証部
 電話番号 : (03) 3812-9186
 FAX 番号 : (03) 3814-7538

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類基準に該当しない (分類できない、分類対象外及び区分外)
 重要危険有害性 :
 有害性 : 吸入又は飲み込んだ場合、有害のおそれ
 環境影響 : データなし
 物理的及び
 化学的危険性 : 通常の取り扱いでは危険性は低い。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
炭酸ナトリウム	1%以下 (0.005mol/L)	Na ₂ CO ₃	1-164	497-19-8
炭酸水素ナトリウム	1%以下 (0.01mol/L)	NaHCO ₃	1-164	144-55-8

4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除き、直ちに付着部を多量の水と石けんで洗い流す。
 眼に入った場合 : 直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。きれいな指で瞼を開いて洗い流す。必要に応じて医師の手当を受ける。
 飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ、吐かせる。必要に応じて医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 周囲の状況に適した消火剤を使用する。
 火災時特有の危険有害性 : 本製品は不燃性であるため、特になし。
 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火活動は風上から行い、有害なガス又はミストの吸入を避ける。適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、

保護具及び緊急時措置：	蒸気を吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項：	流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。汚染された排液が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、中和：	漏洩した液は珪藻土、砂、市販の吸収剤で吸収し、空容器に回収する。漏洩した箇所は大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	酸類と接触すると二酸化炭素を発生する。使用の際は適切な保護具を着用する。
注意事項：	開封や取扱う際に粗暴な扱いをしない。皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに蒸気、エアロゾルを発生させない。使用中に飲食、喫煙をしてはならない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は手を洗淨する。
安全取扱い注意事項：	吸入したり、目、皮膚および衣服に触れないように適切な保護具を着用する。使用の際は適切な換気を行う。

保管

技術的対策：	直射日光、高温を避ける。
適切な保管条件：	密閉して換気の良いなるべく涼しい乾燥した場所で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに洗眼施設及び身体洗淨施設を設置する。
管理濃度：	設定されていない。
許容濃度	
OSHA PEL：	設定されていない。
ACGIH TLV (s)：	設定されていない。
日本産業衛生学会：	設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具：	保護マスク
手の保護具：	保護手袋
目の保護具：	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	保護衣

9. 物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	無色
臭い：	データなし
pH：	データなし
融点：	データなし
沸点（初留点）	データなし
引火点：	適用なし
自然発火温度：	不燃性
燃焼性：	不燃性
爆発範囲（上限・下限）：	適用なし
蒸気圧：	データなし
比重：	約 1.0g/cm ³

溶解性

溶媒に対する溶解性： 水と混和

10. 安定性及び反応性

安定性： 安定。
 避けるべき条件： 日光、熱、酸
 危険有害な分解性生物： 二酸化炭素

11. 有害性情報

製剤についてのデータは無い。

急性毒性：

炭酸ナトリウムについて
 経口 ラット LD50=2800mg/kg、4090mg/kg
 経皮 ラット LD50>2000mg/kg
 炭酸水素ナトリウムについて
 経口 ラット LD50=7334mg/kg
 吸入（ミスト） ラット LC50=5.33mg/L/4hr

皮膚腐食性・刺激性：

炭酸ナトリウムについて
 皮膚刺激 ウサギ 500mg/24 時間 軽度
 ウサギの試験及びヒトでのパッチテストいずれも「刺激性なし」と評価されている（JETOC）。
 炭酸水素ナトリウムについて
 ウサギ皮膚の一時刺激指数（PDII）は 0.3/8 で「わずかな刺激性（slightly irritating）」と評価されている（JETOC）。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：

炭酸ナトリウムについて
 ウサギを用いた試験において、「刺激性なし（not irritating）」～「強い刺激性（highly irritating）」と相反する結果（SIDS(access on July 2008)）が出ている。その中の一つの試験で、非洗浄眼の場合全例に角膜、虹彩、結膜（発赤、浮腫）に症状が発生し、14日の観察期間終了時も症状が残り、ドレイズの最大スコア平均（MMTS）が105と報告されている。また、別の試験の非洗浄眼では、曝露後1時間で角膜混濁を生じ重度の影響が7日まで持続し、ドレイズの平均評点が角膜で3.8、虹彩で2であり、一部の動物で角膜パンヌスおよび円錐角膜を起こしていた。以上の結果は重篤で不可逆的眼損傷性を示している。なお、pH=11.58（5wt% aqueous sol. at 25°C）（HSDB(2003)）である。

炭酸水素ナトリウムについて
 ウサギの試験で、Maximum Mean Total Score=2.0/110（洗浄群）及び8.3/110（非洗浄群）で、「わずかな刺激性（slightly irritating）」と評価されている（JETOC）。

生殖細胞変異原性：

データなし

発がん性：

データなし

生殖毒性：

炭酸ナトリウムについて
 ラット、マウスおよびウサギのそれぞれ器官形成期に経口投与した試験で仔の発生に悪影響を認めないが、親動物の性機能及び生殖能に及ぼす影響に関してはデータが不十分（JETOC）。

炭酸水素ナトリウムについて
 ラット、マウスおよびウサギのそれぞれ器官形成期に経口投与した試験で仔の発生に悪影響を認めないが、親動物の性機能及び生殖能に及ぼす影響に関してはデータが不十分（JETOC）。

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：炭酸ナトリウムについて

ラット、マウスおよびモルモットを用いた試験において、吸入曝露直後に呼吸障害を起し、呼吸困難、および喘鳴音が認められ、3-4 時間後に治まった（SIDS(access on July 2008)）との記載あり。一方、ラットに経口投与後の症状として運動失調、虚脱、し眠が記述され、生存例では5日目までに症状が消失している（SIDS(access on July 2008)）。また、経皮投与後 24 時間の間に嗜眠が観察されたが死亡の発生はなかったと記載されている（SIDS (access on July 2008)）。

炭酸水素ナトリウムについて

（胃破裂）ヒトの経口摂取後、ガスの過剰発生により急性的に胃破裂を起し、入院に至ったケースが複数報告されている（JETOC）。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：炭酸ナトリウムについて

ラットに 3.5 か月間吸入曝露した試験（0.07mg/L）で、一部呼吸器系に組織学的変化が認められたが、分類にはデータが不十分（JETOC）。

1 2. 環境影響情報

製剤についてのデータは無い。

生態毒性

魚毒性：

炭酸ナトリウムについて

魚類（ブルーギル） LC50=300mg/L/96hr

甲殻類（オオミジンコ） EC50=265mg/L/48hr

炭酸水素ナトリウムについて

魚類（ブルーギル） LC50=7100mg/L/96hr

甲殻類（オオミジンコ） EC50=4100mg/L/48hr

残留性/分解性：

データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

酸で中和させた後、多量の水で希釈して排水する。

廃棄前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

容器：

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：

非該当

国連番号：

非該当

注意事項：

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法：

非該当

化学物質管理促進法：

非該当

労働安全衛生法：

非該当

1 6. その他の情報

引用文献

13901 の化学商品 化学工業日報社
化学物質安全情報 研究会編 オーム社
化学大辞典 東京化学同人
関東化学株式会社 製品安全データシート（炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム）
和光純薬工業株式会社 製品安全データシート（炭酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム）
安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実験取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。